廿日市市立阿品台中学校　第３学年・進路通信

# 刮目（かつもく）

第３号　平成 31 年４月 13 日

４月１０日に，春休み明けテストがあり，１１日から，教科の授業が始まりました。多くの人が昨年度より，入試に向けて「やらなきゃ」という意識が高まっていると思います。

これまでの定期テストの５回に加えて，３年生は実力テストが３回あります。そして，**４月１８日（木）には全国学力・学習状況調査**があります。このテストは，皆さんの学力の定着状況を調べ，これからどのような授業をしたらいいか，判断するためのテストです。どのテストも大切なものなので，**「あきらめず，時間いっぱい，最後までやる。」**と一見わからない問題でも考え抜いて書き込み**「白紙，無回答をつくらない！」。**このように粘り強く前向きに取り組むことで着実に成長が期待できるのです。このことを念頭に置いて，それぞれ目標を持って勉強を頑張っていきましょう。

そこで，今回は授業で大切なことを３つ紹介します。３つのことを意識して，学力をつけていきましょう。

## ポイント１　先生の話を集中して聞く

授業が始まったら，説明する先生の方に集中しましょう。先生の話は BGM ではありません。「先生が説明する内容は，必ず理解する」という気持ちで授業に臨みましょう。ノートの空欄への「落書き」や「ペン廻し」など厳禁です。しっかり集中して聞き取り自分の力にしましょう。

## ポイント２　わからないことは聞く

一生懸命聞いて，説明する内容を理解しようとしても，わからないところが出てくると思います。

それを「わからないまま」にしておくと，次に習う内容が理解できなくなります。一番良いのは，「先生に質問すること」です。私の教えた生徒の中にどの教科の定期テストでも，ほとんど満点を取っていた生徒がいました。彼らに共通しているのは，「よく質問すること」でした。質問力がそのまま学力につながるようです。

## ポイント３　授業道具をそろえておく

忘れ物の多い生徒は学力がつきません。教科書がなくて，どうやって勉強が出来るのでしょうか？ほんの１・２分あれば家で授業道具を確認することは出来ます。誰でも出来るはずです。また，筆記用具が揃っていない生徒がいます。勉強をいいかげんにしている人の筆箱の中にはシャーペン 1 本だけ，しかも芯が切れていることがよくあります。授業中にシャーペンを分解している人もいますが，その時間は勉強できません。授業を受けていないのと一緒です。予備を用意しておきましょう。筆箱には鉛筆（シャープペンシル），消しゴム，定規，色ボールペンを入れておいてください。反対に必要以上にペンを持っていても，気が散って，逆効果です。それと下敷きも必要です。下敷きを使わずに物を書くことは，いい加減に書くことにつながります。

## *問題集を１００%活用しよう*

国語，社会，数学，理科，英語の 5 教科では，学校で副教材として問題集（ワーク）を使っています。それをみなさんは１００%活用しているでしょうか。答えを丸写ししている人は，写す時間と教材のお金がもったいないです。

「問題集は最低 3 回しないといけない」という言葉があります。問題集を繰り返しやっていくと，前にできなかった問題も，自然と答えが浮かんでくるようになります。「前より出来るようになった」という実感がわき，「勉強をやったかいがあった」という気持ちになります。そうなると勉強にも前向きになれます。

考えても答えがわからない時があります。そのような時は模範解答を見てみましょう。しかし，そのまま答えを写してはいけません。なぜ，そのような答えになるのかを考えてみましょう。「あっ，そうか。」とわかるようでしたら，次は同じような問題を解けるでしょう。しかし，答えをみてもわからない時は，次の手を打ってください。その教科の先生に質問することです。「〇〇がわからない」と嘆くより，わからないところを一つひとつ根気強く減らしていきましょう。

答え合せをする時，いい加減にしてはダメです。学校でみなさんの提出した問題集を点検していると，間違ったところにも〇をつけている人が多いです。特に英語では，つづりのミスが目立ちます。そのようなことでは，テストでもこまかいミスをして点が思ったより取れないことにつながります。「自分の答えは間違っているんじゃないか」という気持ちで採点してください。問題集の答え合せは自分のミス（弱点）の発見です。ミスを見逃せば，また同じミスを繰り返すことになります。